

2013年 社長(平井 茂雄)年頭挨拶について

新年明けましておめでとうございます。

本で行われた、当社社長 平井 茂雄の社員に対する年頭挨拶の要旨を、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 事業環境

我々が身を置く上流事業の環境は、新興国を中心とした資源獲得競争が依然として熾烈であり、また、深海や高温高圧層など難易度の高い油ガス田の探鉱・開発に伴うコスト上昇が不可避であるなど、厳しい状況が続いている。この厳しい環境下、当社が更なる成長を遂げるためには、従来に引き続き、積極的な探鉱活動の推進と権益の取得を両輪として埋蔵量の積み上げを図るとともに、既存資産の価値最大化や資産ポートフォリオの最適化を推し進める必要がある。

そうした中、昨年は、英領北海での権益買収やアブダビ石油の新利権協定発効、ミャンマーやマレーシアをはじめとする探鉱鉱区取得、国内では中条油業所での生産井掘削など、当社にとって、数々のプロジェクトにおいて進展を見た年であった。将来に向けて明るい材料が揃いつつある。これも、皆さんが仕事に対して真摯な姿勢で臨み、努力・奮闘したおかげであり、心から感謝したい。

2. 第2次中期経営計画

今年は巳年。蛇は脱皮をすることから復活と再生の象徴とされ、新しいことが始まる年と言われている。今年4月から始まる新中期経営計画においては、「リスク管理を徹底しつつ、オペレーターシップを主体として持続的に成長する石油開発会社を目指す」、「2020年に生産量20万BD体制の確立」という長期ビジョン・経営目標の達成に向け、私たちが共有すべき課題は何か、私たちはどのように考え、行動すべきかを明示したロードマップを提示し、皆さんと共有したいと考えている。計画の実行にあたっては、各人が自らの課題・目標を正確に理解し、スタートダッシュを効かせて全力で立ち向かい、一刻でも早くより大きな成果をあげることを期待する。

3. 社員へのお願い

1点目は、業務上、また業務外の様々な機会を通じて、相互理解を図るよう積極的なコミュニケーションに努めてほしいということである。当社は、昨年末に、本年4月1日付でアラビア石油の人材を迎え入れることを決定した。これは、今後の当社の発展にむけての喫緊の経営課題であった「人材の確保」を解決し、成長の基盤を拡充できる絶好のチャンスと捉え決断したものである。この施策により、専門性と経験を有する人材の確保が一気に進むこととなるが、まずは、社内融和を図り、コミュニケーションを深めることが何より肝要である。

2点目は、安全の確保である。操業現場の皆さんには、安全を最優先に仕事を進めることを、改めて強くお願いする。

最後は、コンプライアンスの徹底である。改めて申すまでもなく、法令遵守は事業遂行の大前提である。規程類、進出国の法令や契約に従い、常に遵法意識を持って業務にあたってほしい。